

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子!

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

一年間 ありがとうございました

今年度の行事も、卒業式と修了式を残すのみとなりました。一年間の締めくくりを迎え、安堵の気持ちでいっぱいです。この三年間は、コロナウイルス感染症による制限が多く、子どもたちも窮屈な中の学校生活だったと思います。しかし、五月八日から、コロナウイルス感染症が二類から五類へ移行することによって、学校の対応も緩和されてきます。マスクを外し、友達と仲良くしゃべり合ったり、給食の時間に会話を楽しんだり、この三年間でできなかった光景が戻ってくるのももう少しのようです。

今年度、学校教育目標に掲げている「一人ひとりが輝く北っ子」の姿をめざし、教育活動を展開してまいりました。一つ一つの行事を大切に、最後までやり遂げる子どもたちの力に、幾度となく感心させられました。日々の学習でも、目をきらきらと輝かせながら、学びに向かう姿は微笑ましいものでした。北小の子どもたちは、とても素直で、最後まで一生懸命取り組みます。楽しいことも取り入れながら前向きに行動する子どもたちは北小の強みです。異学年交流の中で見せる高学年のリーダーシップを、下学年は、憧れのまなびで見えています。その姿が、北小の



たてわり班あそびの様子

伝統となり、良い雰囲気や心を創っていると思います。

三月のくらしの広場で「感謝の心をもとう」という話をしました。三月は、この一年間お世話になった方々、友達に、先生に、教室に、学校にと様々な形でありがとうの

気持ちや言葉を表し、周りの人の支えや力で成長できたことを感じてほしいと思います。三月二日の「六年生を送る会」では、各学年工夫を凝らして、思いを伝えることができました。一生懸命に練習した結果が出てよかったと思います。受ける側の六年生も心に何か残るもの、これまで自分たちがしてきたことの意味を感じることが出来たのではないのでしょうか。そして、新しくリーダーとなる五年生の自覚も育ち、頼もしく感じた時間となりました。

最後になりましたが、学校教育の取組は、この三年間のコロナ禍の中で、大きく変化をしているところですが、ピンチでなくチャンスとして捉え、よりよい取組や手立てを講じて、教育活動を展開してまいりましたが、これからも、子どもたちの健やかな成長を願い、地域も学校もみんなが輝く場となることを願っています。

保護者の皆様、地域ボランティアをはじめとする地域の皆様、本年度、様々にお世話になり、ありがとうございました。引き続きこれからもご理解とご協力をお願いいたします。



入場の様子【六年生を送る会】

学校保健安全委員会

二月二十一日に、学校保健安全委員会を開催しました。この会は、学校における健康・安全に係る諸問題を協議し、学校と家庭、地域社会が連携して児童の「健康で安全な学校づくり」を推進する組織です。委員は、田中学校医、佐竹学校歯科医、喜多川学校薬剤師の先生方と香良駐在所の三浦巡査、PTA会長、藤井栄養教諭と本校教職員です。

本校の児童の健康面は、良好だと言えますが、視力の低下が、気になるところです。また、コロナの影響もあり、昨年度より欠席者数が増えています。しかし、給食の残菜が減り、どの子どももしっかり食べるようになっていきます。体格の個人差はありますが、好き嫌いをなく食べることは、成長に欠かせないことです。

先生方から、コロナの弊害による不規則な生活で、肥満度が増すことがあるので、外で元氣よく遊ぶことや規則正しい食生活を心掛けることが大事。手洗いや感染に対する対応も継続すること。歯の治療については、依頼があれば、すぐに治療に行くこと。歯みがき指導や生活改善を含めた治療のためにも余裕をもって歯科に行くことなど、助言していただきました。

コロナによる子どもたちのメンタル面を一番心配しておりましたが、北小の児童が、健康的に生活を送っていることを報告すると、安心しておられました。これからも身体も心も健康第一に取り組んでいきます。お忙しい中、ありがとうございました。

